









## 平成28年度 主な事業（一般会計分）

総務費	役場非常用電源設備設置事業	4,526万円	
	各種基金積立金	3億5,466万円	
	ふるさと納税事業	1億548万円	
	日本版DMO構築による観光推進事業	5,647万円	
	空調施設維持管理費補助事業	1億3,585万円	
	芝山鉄道運営費助成金	1億1,000万円	
民生費	支援給付事業	1億6,088万円	
	国保特別会計繰出金	6,418万円	
	介護保険特別会計繰出金	8,672万円	
	臨時福祉給付金給付事業費	920万円	
	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	2,472万円	
	児童手当支給事業	9,970万円	
衛生費	母子保健・子ども医療事業	2,472万円	
	各種検診及び予防接種委託事業	1,998万円	
	ごみ処理事業	1億2,717万円	
	し尿処理事業	1,004万円	
農林水産費	空港南側農産物直売所建設事業	1,945万円	
	被災農業者向け経営体育成支援事業	2,534万円	
	農業集落排水事業繰出金	5,745万円	
	サンブスギ林再生・資源循環促進事業補助金	710万円	
商工費	芝山町商工会補助金	475万円	
	観光ガイドマップ作成業務委託事業	144万円	
	観光案内看板等設置事業	722万円	
	はにわ祭補助金	600万円	
土木費	地籍調査等業務委託事業	3,423万円	
	道路維持事業	6,298万円	
	道路新設改良事業	1億772万円	
	公共下水道事業繰出金	2億1,565万円	
消防費	広域行政組合負担金（常備消防費）	1億6,036万円	
	消防施設等整備事業補助金	738万円	
	災害用備蓄消耗品購入事業	568万円	
教育費	スクールバス運行业務委託事業	2,768万円	
	芝山小屋内運動場改修事業	3,792万円	
	芝山中屋内運動場改修事業	7,759万円	
	文化財保護事業	1,018万円	
	文化センター照明設備改修事業	1,544万円	
	芝山町農業者トレーニングセンター改修事業	2,156万円	



## 一般会計性質別決算

(単位:万円、%)

区 分	平成 28 年度		区 分	平成 28 年度	
	決算額	構成比		決算額	構成比
1. 消費的経費	38 億 9,817	74.3	2. 投資的経費	5 億 8,799	11.2
(1) 人件費	9 億 5,897	18.3	(1) 普通建設事業	5 億 8,799	11.2
ア 職員給	6 億 527	11.5	ア 補助	1 億 8,706	3.6
イ その他	3 億 5,370	6.8	イ 単独	4 億 93	7.6
(2) 物件費	10 億 8,173	20.6	(2) 災害復旧事業	0	0.0
(3) 維持補修費	3,733	0.7	ア 補助	0	0.0
(4) 扶助費	4 億 92	7.6	イ 単独	0	0.0
(5) 補助費等	9 億 9,642	19.0	3. 公債費	2 億 18	3.8
(6) その他	4 億 2,280	8.1	4. 繰出金	5 億 6,131	10.7
ア 投資等	6,817	1.3	合 計	52 億 4,765	100.0
イ 積立金	3 億 5,463	6.8			
ウ その他	0	0.0			

## 健全化判断比率及び資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成28年度決算をもとに算定した財政健全化比率及び資金不足比率を公表します。

財政健全化判断比率の4指標のうち1つでも基準を超えた場合は、「財政健全化計画」や「財政再生計画」を定めることになっていますが、芝山町では財政健全化判断比率及び資金不足比率でも基準を超えることなく、健全な財政を保っています。

## ◎財政健全化判断比率

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
芝山町数値	—	—	4.3	—
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

(注意) 実質赤字額、連結実質赤字額又は将来負担額がない場合は、「—」と表示。

## ◎資金不足比率

(単位:%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.0
公共下水道事業特別会計	—	20.0

(注意) 資金不足額がない場合は、「—」と表示。

## 〔用語の説明〕

- ・実質赤字比率……一般会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・連結実質赤字比率……全ての会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・実質公債費比率……借入金及びそれに準じた経費の一般財源における比重を指標化したもの。
- ・将来負担比率……一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある経費等の現時点での残高の程度を指標化したもの。
- ・資金不足比率……公営企業会計の資金不足を料金収入等の額と比較して指標化したもの。